



「赤ちゃんの駅」のステッカー。芦屋市(左)で123カ所、西宮市(右)で95カ所が登録されている(2016年9月16現在)。施設・店舗の検索は下記のQRコードをチェック!



「赤ちゃんの駅」登録店には、入り口などにステッカーが必ず貼られている(写真右)。授乳室(写真中)、キッズスペース(写真左)。

【撮影協力】西宮北口ハウジングギャラリー(西宮市高松町2-29) TEL. 0798-31-6522 営/10時~18時

「赤ちゃんの駅」加盟店募集! 詳しくは、下記芦屋市・西宮市の窓口にてTELもしくはサイトをチェック!

NOTE 芦屋市 子育て推進課

芦屋市 子育て推進課
芦屋市精道町7-6
TEL. 0797-38-2045
http://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/akachan-top.html



↑「赤ちゃんの駅」登録施設はこちらから!

西宮市 子育て支援課

西宮市 子育て支援課
西宮市六湛寺町10-3
TEL. 0798-35-3703
http://www.nishi.or.jp/contents/0003648100030008700533.html



↑「赤ちゃんの駅」登録施設はこちらから!

「赤ちゃんと一緒にママが安心して出かけられるように!」とはじまった「赤ちゃんの駅」。2006年6月から東京都板橋区ではじまったこの活動は、瞬く間に全国に広がっていった。外出中に赤ちゃん連れのママが気軽に立ち寄り、無料でサービスを受けられることを基本とし、自治体関連の施設に止まらず、民間の施設なども参加

「赤ちゃんの駅」を導入し、赤ちゃん連れのママをサポートしている。利用者の声では「子ども連れで、外出しやすくなり大変嬉しい」「大変親切にしていただき、落ち着いて授乳ができました」など好評だ。気兼ねなく利用してみよう。

Local Power Vol.11 地デカラ通信

地域みんなでサポート 「赤ちゃんの駅」をもっと身近に

おむつ交換できる場所、授乳室など、赤ちゃんとお出かけるときは事前に調べるママやパパも多いのではないのでしょうか?今回、芦屋市と西宮市で取り組んでいる「赤ちゃんの駅」を取材してきました。利用する側、サービスを提供する側、地域みんなが子どもを育てることに力をあわせて感じました。(編集部 奥村浩次)

行政通信

普段何気なく利用しているサービスや、地元の楽しいイベントなど行政の取り組みは多岐にわたります。このコーナーでは、快適に過ごせる市民向けサービスやお楽しみ情報などを紹介していきます。

イベント

KOBE CHUOU

～神戸開港150年プレイベント～ 第10回多文化交流フェスティバル

中央区には、約1万2000人(区人口の約1割)、およそ100カ国もの国籍の人が住んでいます。料理や音楽・踊りなどを楽しみながら、さまざまな国の文化に触れてみませんか。



- 日時:10/23(日)11時~15時(少雨決行、荒天中止)
- 場所:東遊園地(神戸市役所1号館南側)
- 内容:ステージイベント・各国の屋台・民族衣装ファッションショー・子どもの遊び、文化体験など
- お問合せ:中央区まちづくり推進課 多文化まちづくりの会 TEL.078-232-4411(内線211) (雨天中止情報)市イベント案内・申込センター TEL.078-333-3372(当日のみ8時~音声案内)

展覧会

ASHIYA

「文豪ストレイドッグス」展

谷崎潤一郎をはじめ中島敦、太宰治、芥川龍之介ら近代文学の文豪たちが、それぞれの文学作品にちなんで「異能」を発揮して戦いを繰り広げる人気バトルアクション「文豪ストレイドッグス」を展示。ぜひこの機会にお越しください。



© 2016朝倉カフカ・香河35 / KADOKAWA / 文豪ストレイドッグス製作委員会

- 会期:10/5(水)~11/6(日)
- 会場:芦屋市谷崎潤一郎記念館(芦屋市伊勢町12-15)
- 開館時間:10時~17時(入館は16時半まで)
- 休館日:10/11(火)・17(月)・24(月)・31(月)
- お問合せ:芦屋市谷崎潤一郎記念館 TEL.0797-23-5852
- 入館料:一般400(320)円、大・高生300(240)円、中学生以下無料
- ※()内は20人以上の団体料金(いずれも税込価格)
- ※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方とその介護の方は各当日料金の半額

ツアーイベント

KOBE NADA

「なだとつながるツアーvol.2」参加者募集! [10/11(火)申込締切]

灘区での生活を体験・体感していただくバスツアーで、今回は「灘区での子育て」がテーマ。最近灘区へお引越しした人やお引越しを検討している人、就学前の子どもがいる灘区在住の人も対象です。ぜひご参加ください!

- 日時:10/29(土) <午前の部>10時20分~12時 / <午後の部>12時~15時半
- ※参加は「午前」もしくは「午後」、「午前・午後どちらとも」からお選びいただけます。
- 主な訪問先:神戸市立王子動物園(午前)・水道筋商店街つまみぐいツアー(午後)など
- 実費:午後の部は500円(つまみぐいツアー代金)
- 定員:30名ほど(応募多数の場合は抽選)
- 詳しくは「なだとつながるツアー vol.2」で検索
- お問合せ:灘区まちづくり課 Tel.078-843-7001(内線223) e-mail:nadaku@office.city.kobe.lg.jp

展覧会

NISHINOMIYA

マリメッコ展

～デザイン・ファブリック・ライフスタイル～

フィンランドを代表するデザインハウス「マリメッコ」。ファブリック約50点、貴重なヴィンテージドレス約60点、デザイナー自筆のスケッチなど、マリメッコの60年の歴史をたどる国内初の大規模な展覧会です。



ドレス<カトリック> ファブリック<ブティック>(ブーケ)、服飾・図案デザイン:アンニカ・マリマ、1964年 Design Museum Archive / Photo: Seppo Saves

- 会期:10/8(土)~11/27(日)
- 会場:西宮市大谷記念美術館(西宮市中浜町4-38)
- 開館時間:10時~17時(入館は16時半まで)
- 休館日:水曜日
- ※11/23(水・祝)は開館、11/24(木)休館
- お問合せ:西宮市大谷記念美術館 TEL. 0798-33-0164
- 入館料:一般800(600)円、高大生600(400)円、小中生400(200)円
- ※()内は前売・20名以上の団体料金(いずれも税込価格)
- ※西宮市内在住65歳以上の方は一般料金の半額(要証明書呈示)
- ※心身に障がいのある方及び介助者1名は無料(要手帳等呈示)

イベント

KOBE HIGASHINADA

てくてく東灘「谷崎潤一郎 東灘ゆかりの地を訪ねて」参加者募集(無料)

東灘歴史掘り起こしマップをもとに、講師の解説を聞きながら史跡や名所を散策します。ぜひご参加ください。



谷崎潤一郎旧邸「倚松庵」

- 日時:11/20(日)9時~12時
- 行程:北畑の家、文学碑、「細雪」の碑、倚松庵など(予定)
- 募集人数:60名(応募多数の場合は抽選)
- 参加費:無料
- 講師:道谷 卓さん(神戸深江生活文化史料館 副館長)
- お問合せ:東灘区まちづくり課 TEL.078-841-4131(内線236) FAX.078-811-4901 Mail:h-matika@office.city.kobe.lg.jp
- 応募方法:はがきか電子メールかFAXに応募者全員(4人まで申込可)の住所・氏名・年齢・電話・FAX番号を記入し、10/28(金)必着で下記へ申し込み
- 申込み:〒658-8570(住所不要)区まちづくり課「てくてく東灘係」



ロハスフェスタでハワイと出合おう。

～『111ハワイプロジェクト』を知っていますか?～

ハワイプロジェクトブースの詳細はP.25へ

ハワイで暮らす一人の日本人がハワイ州政府観光局に企画を持ち込んでスタートした「111ハワイプロジェクト」。ハワイを愛する想いが、地元企業の政府機関を動かして大きな流れを生み出している。発起人のクニ ヤマトさんにお話をうかがった。



クニ ヤマトさん (クラレンス・リー・デザイン 社長)

1973年、大阪府生まれ。陶芸家の父と顔彩の日本画の先生である母のもとで育つ。大阪芸術大学デザイン科卒業後、デザイン会社勤務を経て、2005年、クラレンス・リー・デザイン副社長兼アートディレクターとしてハワイに移住。2007年より同職。ヤマモトさんの着ているアロハシャツも111ブランドの商品。



メイドインハワイをお土産に選んでもらうことで、地域の活性化と環境・文化保護に貢献できるプロジェクト

12年前、ハワイに移住してデザインの仕事に携わっているクニ・ヤマモトさん。移住から10年経った頃、自身が代表を務めるデザイン会社がハワイ創業50年の節目を迎え、地元ハワイにデザインの力で何か恩返しができないかと考えたことが、この「111ハワイプロジェクト」をスタートさせるきっかけだったという。

「ハワイは世界中からの観光客が訪れるリゾート地ですが、ハワイで暮らす人々やローカルビジネスにとっては、非常に厳しい環境です。島国ということもあり、家族経営のような中小企業が非常に多く、実際にビジネスを立ち上げては潰れていく会社をこれまで数多く見てきました」とヤマモトさん。

ハワイには心をこめて作られた上質なハワイ産の商品がたくさんある。しかし、そのほとんどが中小企業で、知名度の低さから、多くの商品が埋もれてしまっている。「その問題を解決するには、まずはメイド・イン・ハワイそのもののブランド力を底上げする必要があるのではないかと考え、統一ブランドでのブランディング支援をさせていただくアイデアが生まれました」とヤマモトさん。

頭がダイヤモンドヘッドになった犬やイルカの可愛いキャラクターを誕生させ、バッグやキッズTシャツ、食品のパッケージ(ハワイ産のコーヒーやハーブティー、焼き菓子)などに展開。リピーターも増え、今後の広がりがますます楽しみな同プロジェクトに、ぜひ注目してみてください。

【111ハワイプロジェクト公式HP】 http://www.111-hawaii.com